

復興支援のため、南相馬市へ島田市職員を派遣

◎人事課 ☎36・7135

東日本大震災の復興支援のため、市では福島県南相馬市へ職員1人を派遣しました。任期は4月1日から1年間。現地では公共事業の契約事務などを担当する予定です。

この職員派遣は、南相馬市からの要請に応えたもので、本格的復興事業への支援を行うとともに、今後想定される東海地震などの危機管理への対応習得を目的としています。

3月28日、職員派遣の辞令交付式が行われ、派遣される職員は「被災地の復旧・復興のプロセスをこの身で感じ、現地の人と一緒になって力を尽くしていきたい」と決意を述べました。

市では、平成24年度に南相馬市へ職員3人を、平成25年度は岩手県山田市の職員1人を派遣し、震災の復興支援にあたってきました。



染谷市長から辞令を受ける職員

大井川鐵道を支援するための協議会を初めて開催

◎市民安心課 ☎36・7144

経営不振の大井川鐵道の支援策を協議する「地域公共交通としての大井川鐵道の存続と地域活性化に関する協議会」の初会合が、3月25日に市役所で開かれました。

協議会には染谷市長と鈴木敏男川根本町長、伊藤秀生大鐵社長、さらには井川線（千頭～井川間）が通る静岡市と県交通政策課の担当者、オブザーバーとして中部運輸局鉄道部の担当者が出席しました。

初めに大井川鐵道から、沿線市町の少子化などに伴う利用者数と、SLを中心とした観光鐵道面で団体バスツアー客数が大幅に減少していることを説明。また、3期連続で赤字を計上する見通しを示し、3月26日のダイヤ改正では、収支改善を図るために大井川本線の運行本数を大幅に削減することが報告されました。

今後の協議会では、利用者の実態を把握するアンケート調査や、沿線の地域振興、静岡市と連携した広域観光施策を推進することなどを決めました。

耕作放棄地の解消実績で市農業委員会に優秀賞

◎農業委員会 ☎36・7209

島田市農業委員会（増田重男会長）が2月5日、静岡市グランシップで川勝県知事から「静岡県耕作放棄地再生活動（推進組織の部）」で優秀賞を授与されました。

これは、市内でも問題となっている耕作放棄地の解消のために、各地区の農業委員が農業委員会事務局や農林課と連携を図りながら進めた活動が

評価されたものです。

市農業委員会では、農地相談員の設置や担い手法人への農地利用集積の推進、市民農園・体験水田・干し柿園・周辺景観を活用した地域活性化活動の支援など、さまざまな活動を重ねてきました。

平成21年から平成25年までに約30haの耕作放棄地を解消。これからも積極的に耕作放棄地の解消を進めていきます。

新しい市勢要覧に市民300人の「いっしょん」

◎広報課 ☎36・7118

市では「島田市市勢要覧」を4年5カ月ぶりに改訂しました。今回は、島田市民が受け継ぐ「人×声×かける」（ひとこえかける）おもてなしの心をコンセプトに、多くの市民から寄せられた島田市のお気に入りを紹介。市の魅力や子育て環境の充実、安全安心のまちづくりを、市民の声「いっしょん」のキーワードで伝えていきます。

取材に協力してくれた市民の皆さんは、なんと約300人。さらに、スマートフォンに対応したAR（拡張現実）技術を採用し、紙面には掲載しきれない情報を動画や音声で発信しています。

今後は、定住人口の拡大を掲げるシティープロモーションで市外や県外へ

の情報発信に使用するほか「シビックプライド（郷土に対する誇りや愛着）」の醸成のツールとして役立てていきます。今後、公共施設や首都圏の観光案内所に配架するほか、市のホームページでも公開する予定です。



全28ページ
A4版